

# 新型コロナワクチン（mRNAワクチン※） 注意が必要な誤情報（2021年9月7日版）

※ファイザー社のワクチンと武田/モデルナ社のワクチン。アストラゼネカ社のワクチンはウイルスベクターワクチンで原則40歳以上の方が接種可能です。

新型コロナワクチンの情報については、科学的根拠や信頼できる情報源に基づいていない不正確なものがあり、注意が必要です。ワクチン接種のメリットが、副反応などのリスクより大きいいため、接種をおすすめしています。

誤情報	正しい情報
遺伝子組み換え技術が使われており、ワクチン接種により遺伝子（染色体）に変化を生じさせる。	ワクチンで注射するmRNAは短期間で分解されていきます。人の遺伝情報（DNA）に組みこまれるものではありません。 ※ <a href="#">詳細はこちら</a>
ワクチン接種が原因で多くの方が亡くなっている。	「ワクチンを接種した後に亡くなった」ということは、「ワクチンが原因で亡くなった」ということではありません。接種後の死亡事例は報告されていますが、接種が原因で多くの方が亡くなったということはありません。 ※ <a href="#">詳細はこちら</a>
ワクチン接種が不妊症の原因となる。	ワクチンが原因で不妊になるという科学的な根拠はありません。 ※ <a href="#">詳細はこちら</a>
ワクチン接種が流産の原因となる。	ワクチンが胎児や生殖器に悪影響を及ぼすという報告はありません。妊娠中の方も、ワクチンを接種することができます。妊娠中の時期を問わず接種をおすすめします。 ※ <a href="#">詳細はこちら</a>
ワクチン接種により不正性器出血（不正出血）や月経不順が起こる。	ワクチンが直接的に不正性器出血（不正出血）や月経不順を起こすことはありません。 ※ <a href="#">詳細はこちら</a>
ワクチン接種で（接種した本人や周囲の人が）コロナウイルスに感染する。	ワクチンを接種したことが原因で新型コロナウイルスに感染することはありません。 ※ <a href="#">詳細はこちら</a>
ワクチンを接種した人が変異ウイルスに感染すると重症化しやすい（抗体依存性感染増強（ADE）になりやすい）。	現在までに、ワクチンを接種した方で抗体依存性感染増強（ADE）が生じたという報告はありません。 ※ <a href="#">詳細はこちら</a>
通常の臨床試験（治験）のプロセスが省略されている。	ワクチンは、医薬品開発に必要な臨床試験（治験）のプロセスを経て世界中で承認されています。 ※ <a href="#">詳細はこちら</a>
臨床試験（治験）が終わっていないので安全性が確認されていない。	ワクチンは、臨床試験（第Ⅲ相試験）で、有効性と安全性に関して厳格な評価が行われた後に承認されています。その上で、効果の持続性等を確認するために、臨床試験の一部が継続されています。 ※ <a href="#">詳細はこちら</a>
動物実験でワクチンを接種した全ての動物が死んでいる。	ワクチンの実験動物がワクチンの毒性によって異常な死を遂げたという事実はありません。 ※ <a href="#">詳細はこちら</a>